



LMSを使ってオンライン授業を やってみよう！

資料ダウンロード先：<https://bit.ly/nii0508>

京都大学学術情報メディアセンター
緒方 広明

今回対象とする方

- **LMS**という言葉聞いたことはあるが、ご所属の小中学校、高等学校、大学では、**LMS**が運用されておらず、現在の学習困難な状況から**LMS**を使ってオンライン授業にチャレンジしたい方。
- 海外の無料**LMS**を利用した場合、データの扱いなどに懸念をお持ちの方。
- **【連絡事項】** 後日、**NII**の**HP**からビデオや資料が公開されますので、お時間のある時に、ビデオを停止したりしながら、お試し下さい。

LEAF(Learning Evidence and Analytics Framework) の紹介



- Moodle：学習管理システム(LMS)
- BookRoll：教材配信システム
- Analysis Tool：学習ログ分析ツール

【特徴】

- 無料でアカウントやコースが作成できます。
- 京大内にサーバーがあり、学校や自宅からでもアクセスできます。
- 教員に学習ログの分析を提供します。

moodle とは？

- 現在、世界241か国で約2億人が利用しているオープンソースの学習管理システム(LMS: Learning Management System)
- 小学校から大学まで世界中で利用
- ブラウザから利用するため、PCやタブレット、スマートフォンなどで動作するマルチプラットフォーム型
- iPhone、Androidの無料アプリも利用可能
- 日本語/英語/中国語などの多言語のインターフェースが用意

【特徴】

学生達が、そこに行けば学習できる場を提供する。

日本の大学での Moodle利用率

引用元：

2017年度高等教育機関における
ICTの利活用に関する調査研究、AXIES

多くの大学で使われている
ので、初等中等教育から
継続的に利用してもらえる。

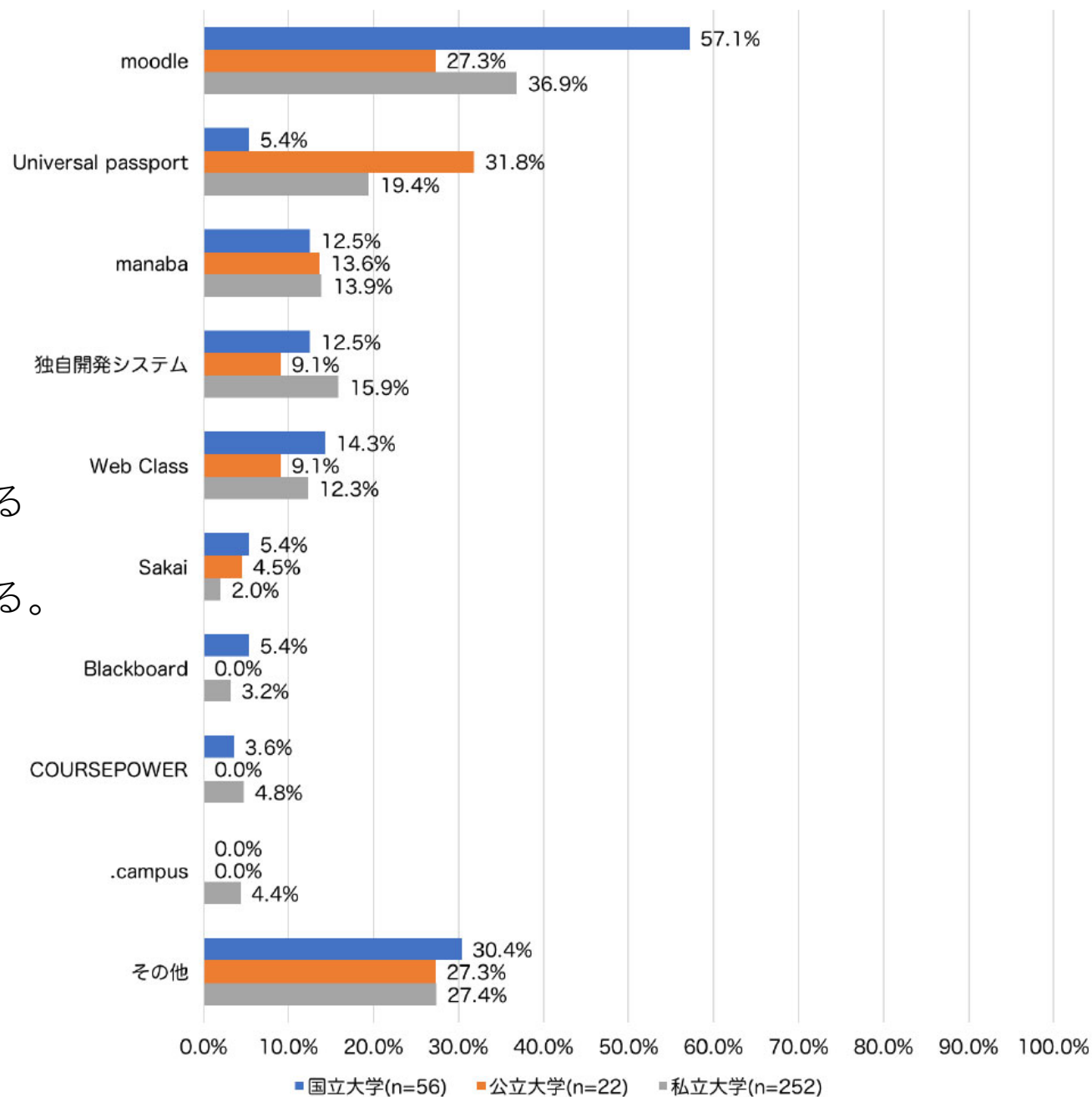


図 2.2-5 利用している LMS の種類 (設置者別)

moodle でできること



	活動
学生への連絡	<ul style="list-style-type: none">• 学生全員への一斉連絡• 学生個人にメッセージを送信
教材配信	<ul style="list-style-type: none">• ファイルなどの共有• BookRollでの教材配布
学習評価・管理	<ul style="list-style-type: none">• 小テストやレポート課題の作成や採点• 出席・成績管理
グループ活動	<ul style="list-style-type: none">• グループを作成してフォーラム・チャットで議論• ワークショップ（レポート課題の相互評価）
学生の状況把握	<ul style="list-style-type: none">• 学生に日誌を書いてもらったりアンケートで把握• Analysis Toolを利用して学習活動の状況を把握

本日の話の流れ



①Moodleにアカウントを作成する方法
メールアドレスが必要（先生）
スマートフォンのメールアドレスでも可

②Moodleの練習用コースに登録

練習用コースでお試しをして
実際に授業で利用する際は
コースを作成して下さい

③Moodleにコースを作成（教師が行う）

④Moodleのコース情報を学生に連絡する文例



⑤BookRollを利用した教材配信



⑥Analysis Toolを利用したデータ分析

⑦LEAFを使った授業設計の例

1. にアカウントを作成する

以下のページにアクセスすると

<http://bit.ly/letdemo>

以下にジャンプします


<https://live.let.media.kyoto-u.ac.jp/demo/moodle/>



ここを押すと次のスライドの画面が表示

ユーザ情報を入力

1. 右の情報を入力して下のボタンを押す
2. 以下のようなメールが届いたらリンクをクリックして登録完了*

Moodle: アカウントの確定  受信トレイ x

User Admin (Moodle) <noreply@let.media.kyoto-u.ac.... 2020/05/04 13:44 (2 日前) ☆
To 自分 ▼

緒方 広明 さん

「Moodle」であなたのメールアドレスによる新しいアカウントの作成が依頼されました。
あなたの新しいアカウントを確定するには以下のウェブアドレスにアクセスしてください:

 <https://live.let.media.kyoto-u.ac.jp/>  gmail

ほとんどのメールプログラムではあなたがクリックできる青いリンクとして表示されている
クリックできない場合、あなたのウェブブラウザウィンドウのアドレス欄にアドレスをコピ
ーしてください。

*迷惑メールのフォルダに入る可能性もあり

情報を入力してここを押すとメールが届く

Moodle

新しいアカウント

▼ あなたのユーザ名 およびパスワードを入力してください。

ユーザ名 ①

パスワードには少なくとも 6 文字を入力する必要があります。

パスワード ①

▼ 詳細情報

メールアドレス ①

メールアドレス (もう一度) ①



姓 ①

名 ①

都道府県

国

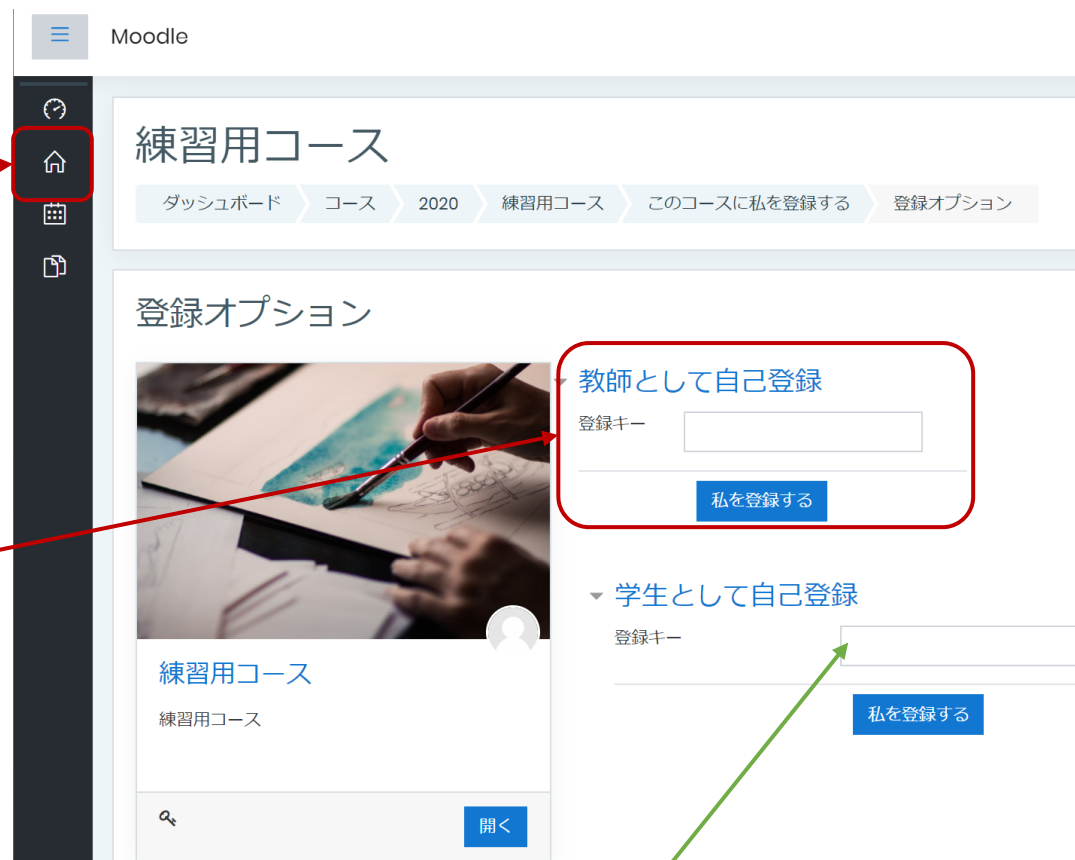
▶ 他のフィールド

  キャンセル

① マークが付けられたフィールドは必須入力フィールドです。

2. 「練習用コース」に自分を登録

- ① サイトホームに移動
- ② 2020のカテゴリを選択
- ③ 練習用コースを選択
- ④ 教師として自己登録のための登録キー2020を入力
- ⑥ 「私を登録する」を実行



【補足】 もう一つアカウントを作成して学生として登録すれば、学生側の動作確認が可能
(登録キーは2020)



ナビゲーション

- コースセクション
 - 一般
 - 活動やリソースの例
 - 参考資料
 - 以下のところは活動やリソースを試しに作ってみましょう！
- 参加者
- バッジ
- コンピテンシー
- 評定
- ダッシュボード
- サイトホーム
- カレンダー
- マイコース
- プライベートファイル
- 練習用コース

選択コース名

練習用コース

セクション

一般セクション

トピック

活動やリソースの例

参考資料

「編集モード」を開始する

- 小テストなどの活動を登録するには「編集モードの開始」を選択
- Moodleには教師と学生のロールがあり、教師のみが編集可能



- 活動またはリソースを追加する



デモをします！

- 課題
- フィードバック
- 日誌
- 小テスト
- 表示・非表示設定
- 表示場所の移動

【お願い】

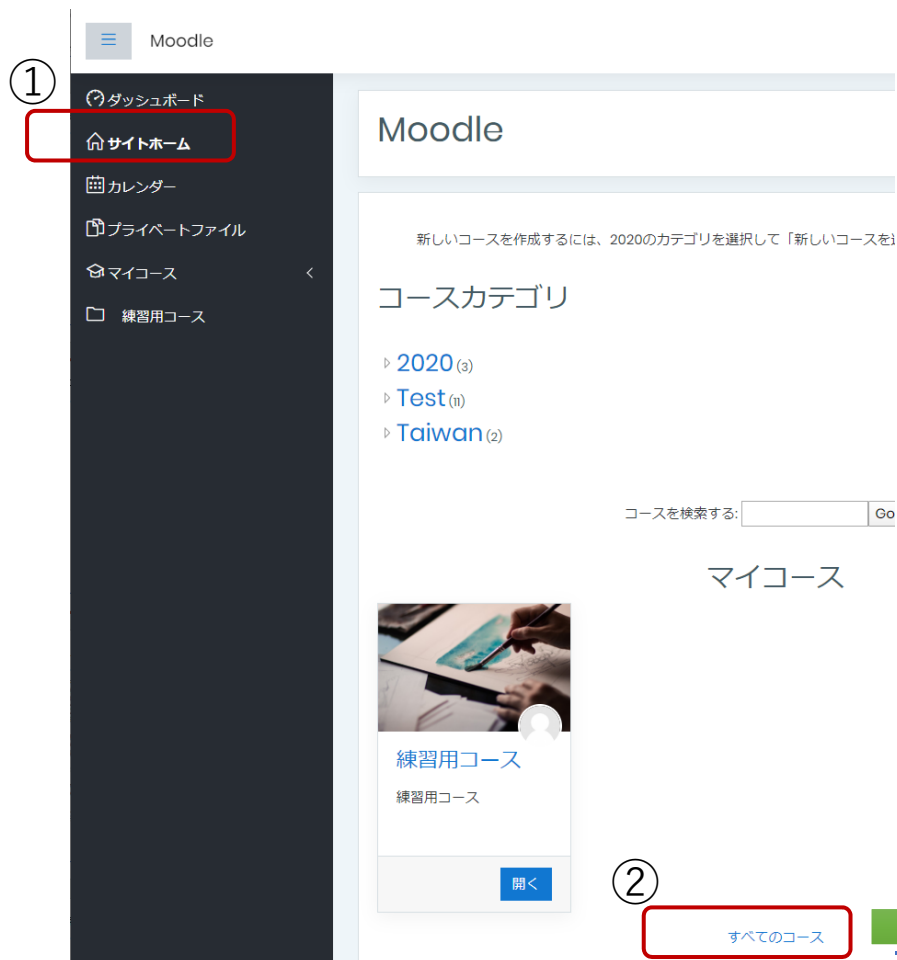
- ① 質疑応答は、最上段の「**質疑応答**」の掲示板でしましょう！
- ② 教員は、学生に「ロールを切り替え」をして動作確認可能
- ③ 一番下の練習用のトピックに自分で活動を作ってみて下さい。

The screenshot shows the Moodle interface with three numbered annotations:

- ①: A red box highlights the '質疑応答用フォーラム' (Forum for Q&A) link in the top navigation bar.
- ②: A red box highlights the 'ロールを切り替える...' (Switch role...) option in the user menu, which is accessed by clicking the user profile icon in the top right corner.
- ③: A red box highlights the '以下のように活動やリソースを試しに作ってみましょう！' (Let's try to create activities and resources like this!) link at the bottom of the page.

3. コースを申請

練習用コースでいろいろお試しをして、実際に授業で利用する際は、新しいコースを申請して下さい。



①

Moodle

ダッシュボード

サイトホーム

カレンダー

プライベートファイル

マイコース

練習用コース

Moodle

新しいコースを作成するには、2020のカテゴリを選択して「新しいコースを」

コースカテゴリ

2020 (3)

Test (11)

Taiwan (2)

コースを検索する: Go

マイコース

練習用コース

練習用コース

開く

【コースの申請方法】

- ① 「サイトホーム」を選択
 - ② 「すべてのコース」を選択
 - ③ 「コースをリクエストする」を選択
- 次のスライドの画面が開く



Moodle

ダッシュボード コース

コースを検索する: Go ?

2020

Test

Taiwan

②

すべてのコース

③

コースをリクエストする

コース名のルール

①コース名

初等中等教育の場合：

県市区町村名＋学校名＋クラス名や科目名等

例：〇〇市立〇〇小学校 2 年 3 組

例：〇〇県立〇〇高等学校 1 年 数学

大学の場合：

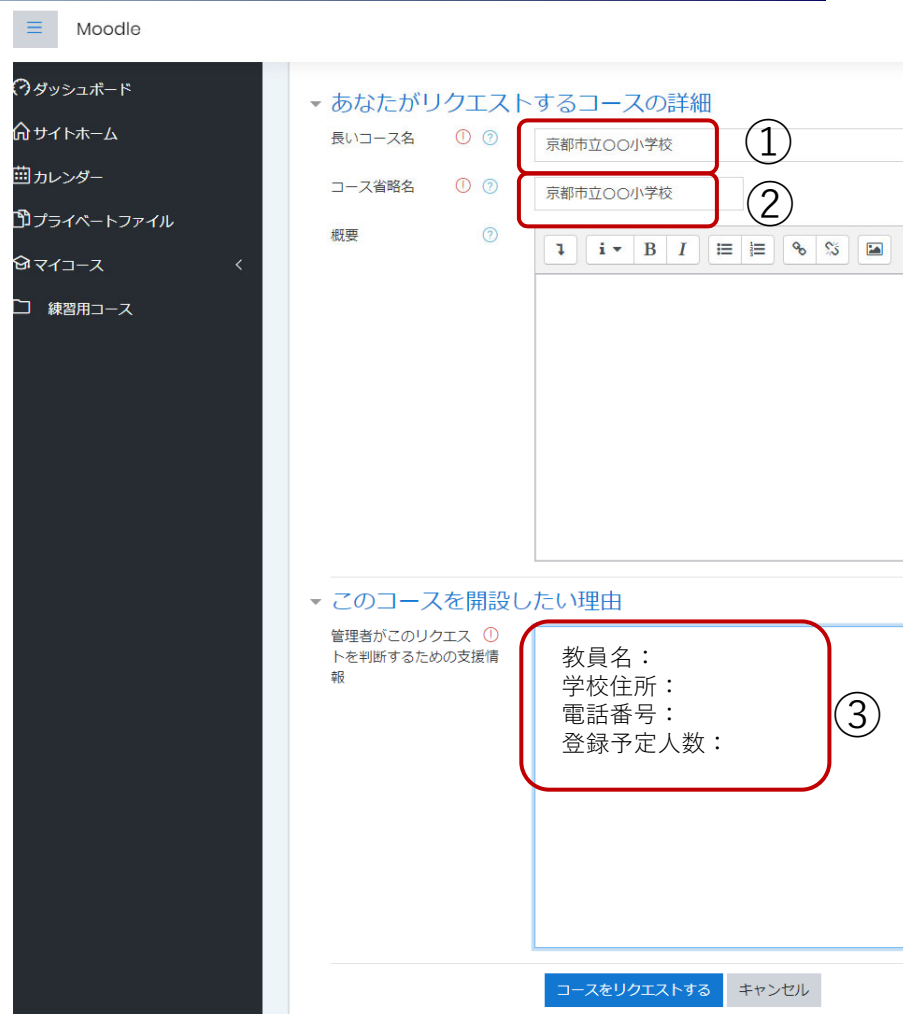
大学名＋学部・学科名＋講義名など

例：〇〇大学〇〇学部情報基礎

②長いコース名とコース省略名は同じもの

③理由の欄には、教員名、学校住所、電話番号、コースに登録予定の人数を記入して「コースをリクエスト」実行

※「コースリクエスト」の後、承認のメールが届くまで、しばらく時間（1 日程度）がかかる場合があります。



The screenshot shows the Moodle interface for requesting a course. The left sidebar contains navigation links: ダッシュボード, サイトホーム, カレンダー, プライベートファイル, マイコース, and 練習用コース. The main content area is titled 'あなたがリクエストするコースの詳細' (Details of the course you are requesting). It contains two input fields for '長いコース名' (Long course name) and 'コース省略名' (Course abbreviation), both of which are circled in red and labeled with a circled '1' and '2' respectively. Below these fields is a '概要' (Summary) section. At the bottom, there is a section titled 'このコースを開設したい理由' (Reasons for wanting to open this course), which is circled in red and labeled with a circled '3'. This section contains a form with labels for '教員名' (Teacher name), '学校住所' (School address), '電話番号' (Phone number), and '登録予定人数' (Number of students to be registered). At the bottom right of the form are two buttons: 'コースをリクエストする' (Request course) and 'キャンセル' (Cancel).

学生を自己登録させる設定

①参加者を選択

②自己登録を選択

次のスライドの画面
が開く



The screenshot shows the Moodle interface. On the left, the 'Participants' menu item is highlighted with a red box and labeled ①. In the main content area, the 'Settings' gear icon is highlighted with a red box and labeled ②. A dropdown menu is open from the settings icon, showing options like 'Registration method', 'Manual registration', and 'Self-registration'. The 'Self-registration' option is highlighted with a red box. Below the settings menu, there are filters for 'Name' and 'Surname' and a message 'No data to display'.

学生の自己登録の設定

①数字 4 桁の登録キー*
を教員自身が設定
例えば4387など

②学生を指定

※キーを設定しない場合、
誰でもコースに登録できますので必ず設定下さい。
SNSやHPなどでキーの公開
はしないで下さい。



自己登録

▼ 自己登録

カスタムインスタンス名 自己登録

既存の登録を許可する ② Yes

新しい登録を許可する ② Yes

登録キー ①

グループ登録キーを使用する No

デフォルトに割り当てるロール 学生 ②

登録期間 0 日 Yes

登録期限切れの前に通知する No

通知閾値 0 日

開始日 2022-01-01

4. オンライン授業を始めるために 学生に連絡

1. MoodleのURLとアカウントの作成方法
2. コース名と自己登録のキー

文例

1. 以下のページにアクセスして「新しいアカウント」のボタンを押して、アカウントを作成してください。
<http://bit.ly/letdemo>
2. メールが届いたらリンクをクリックして、ログインしたら、「2020」のカテゴリから「京都市立〇〇小学校△年△組」のコースを選択または検索して、「私を登録する」のボタンを押してコースに入ってください。
その際、登録キーにはXXXXを入力してください。

本日の話の流れ



- ①Moodleでのアカウント作成
メールアドレスが必要（先生）
スマートフォンのメールアドレスでも可
- ②Moodleの練習用コースに登録
- ③Moodleにコースを作成（教師が行う）
- ④Moodleのコース情報を学生に連絡



- ⑤BookRollを利用した教材配信



- ⑥Analysis Toolを利用したデータ分析

- ⑦LEAFを使った授業設計の例

5. BookRoll の概要

- 教員は、教材(PDF)と音声(m4a, mp3, wav)をBookRollに登録します。
- 学生は、説明を音声で聞きながら、教材を閲覧しますが、
元のPDFや音声ファイルをダウンロードできない

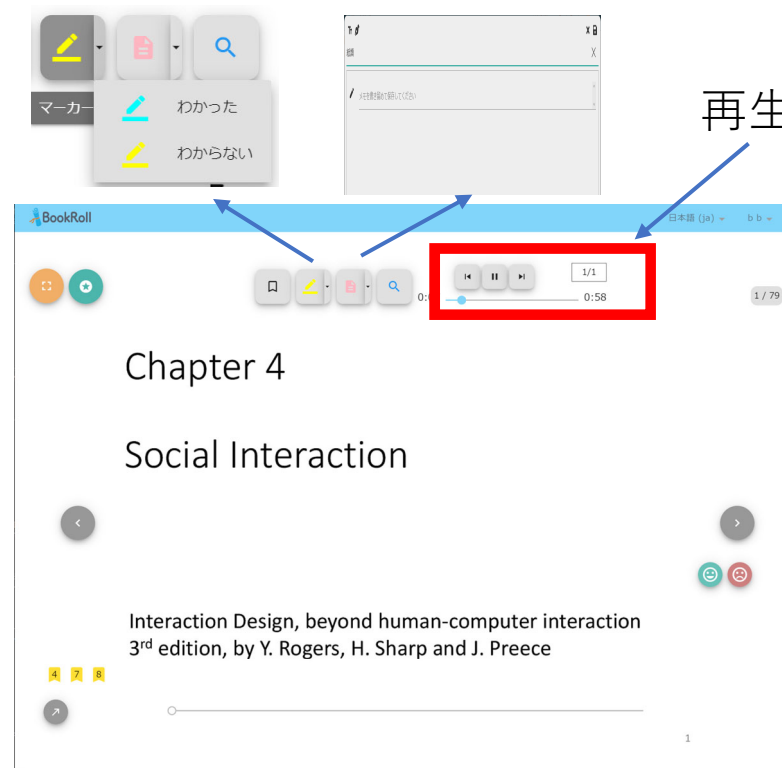
*音声はお試し期間中！

教材閲覧・音声再生画面（学生）

教材・音声ファイル登録画面（教員）



The screenshot shows the '教材編集' (Material Edit) page. On the left, the 'ナビゲーション' (Navigation) menu has '教材追加' (Add Material) highlighted with a red box. The main content area is titled '教材名・ファイル' (Material Name・File) and contains a red-bordered box around the upload section. This section includes a message: 'ファイルを選択してアップロード、またはファイルのドロップでアップロードが開始されます' (Select a file to upload, or start uploading by dropping the file). Below this are fields for '教材名' (Material Name), 'ファイル' (File), and '再生順' (Playback Order). The 'ファイル' field has a 'ファイルを選択' (Select File) button. The '再生順' field has a '1' and a 'ファイルを選択' (Select File) button. Below these are buttons for 'アップロード' (Upload) and 'キャンセル' (Cancel). To the right of the red box, there are settings for '公開範囲' (Public Range), '公開期間' (Public Period), 'バージョン' (Version), '表示教員名' (Display Teacher Name), '他の所有者' (Other Owners), 'PDFダウンロード' (PDF Download), and 'クイズ設定' (Quiz Settings). At the bottom right, there is a red-bordered box around the '登録・更新' (Register/Update) button.



The screenshot shows the student playback interface. At the top, there is a '再生' (Play) button and a 'マーク' (Mark) button. Below these are buttons for 'わかった' (I understand) and 'わからない' (I don't understand). The main content area displays 'Chapter 4' and 'Social Interaction'. Below this, it shows the book title 'Interaction Design, beyond human-computer interaction' and the authors '3rd edition, by Y. Rogers, H. Sharp and J. Preece'. At the bottom, there is a progress bar and a '1 / 79' indicator. A red-bordered box highlights the playback controls, including play, pause, and volume buttons.



6. 分析ツール

分析ツール データ入出力

ログアナライズ ナレッジアナライズ

表示内容を選ぶ

コースタイトル 教員への研修会

① 教材を選ぶ

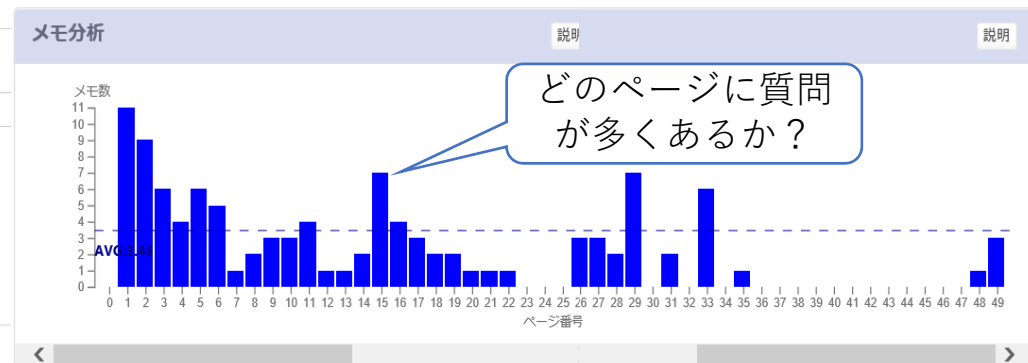
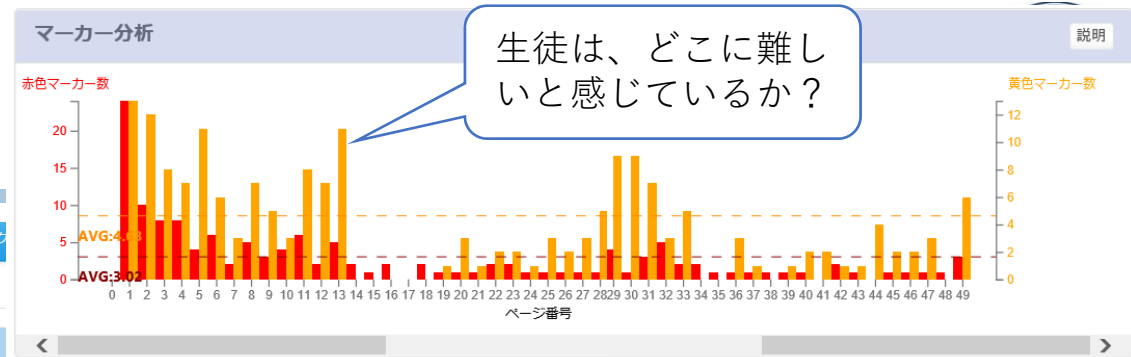
ページを選ぶ ~

② 学生を選ぶ

③ 期間を選ぶ

~

④



Reading Analysis

Disselect All Send Mail Info

Show 10 entries

Student Name	Time	Event	Day	Completion	Long E	Red M	Yellow M	Memo	BM
Tanaka Tomoko	205.0	299	5	113	140	4	13	6	7
Takai Yuka	40.0	93	4	113	46	0	5	2	0
テスト ユーザB	11.0	37	2	63	20	3	5	3	0
テスト ユーザE	10.0	66	2	63	21	4	6	4	0
テスト ユーザA	6.0	40	2	63	20	4	7	3	0
テスト ユーザG	4.0	27	2	63					0
テスト ユーザC	3.0	33	2	63					0
テスト ユーザF	3.0	31	2	63					0
テスト ユーザD	2.0	25							0
Majumdar Rvitatit	0	0	0	0					0

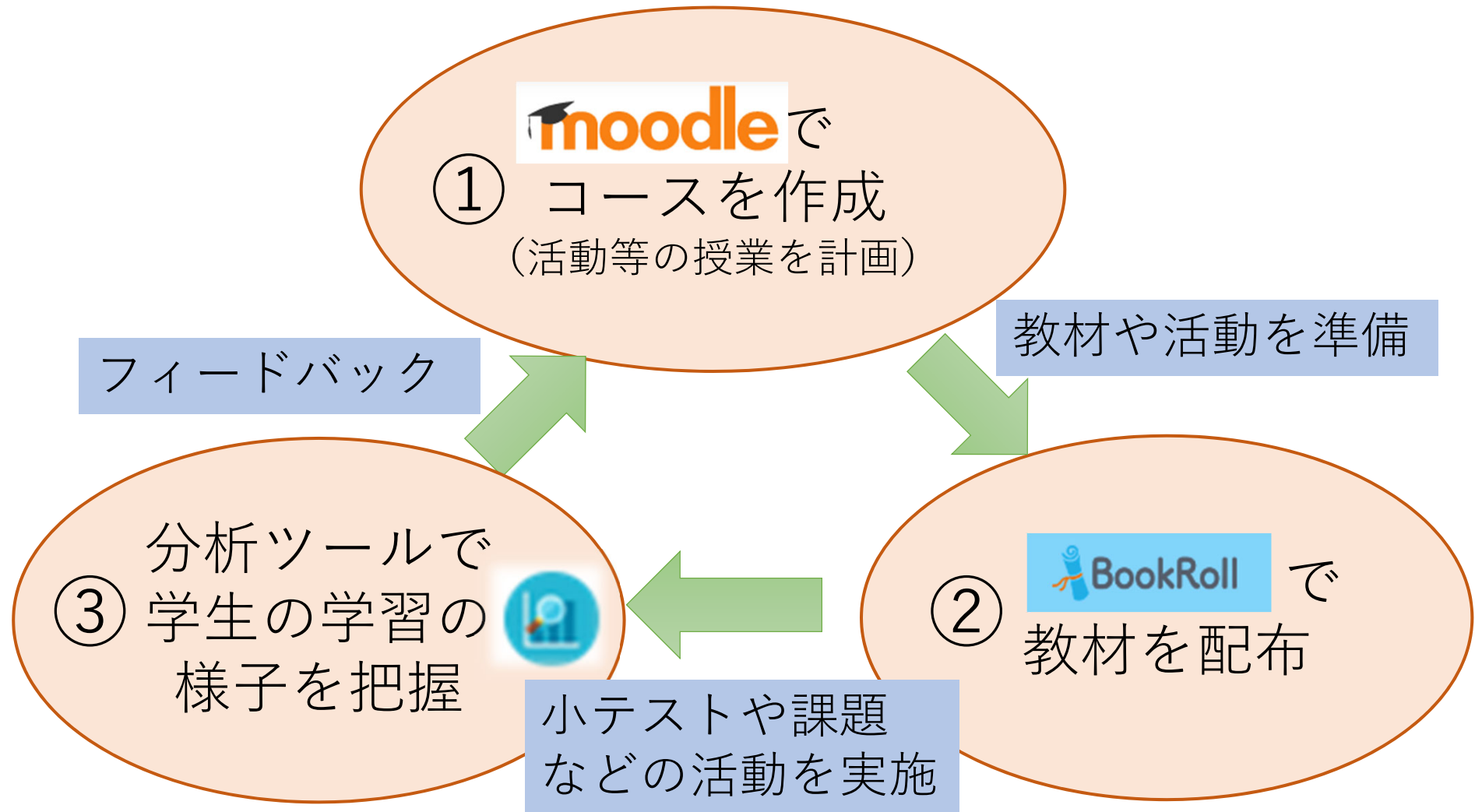
Showing 1 to 10 of 131 entries

Previous 1 2 3 4 5 ... 14 Next

生徒はちゃんと読んでいるか？



7. LEAFを用いたオンライン授業の設計



非同期オンデマンド型オンライン授業の流れ

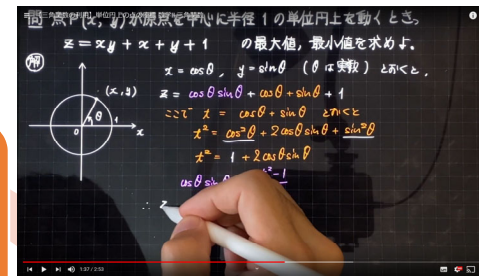


MoodleとBookRollを利用

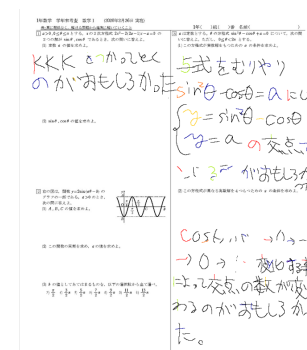
Moodleのフォーラムを利用



教員：BookRoll
とビデオで説明



BookRollを利用

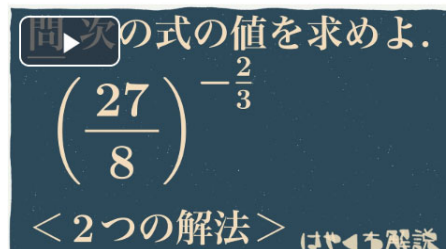


学生：BookRoll
で問題に回答

数学

Q&A
振り返り

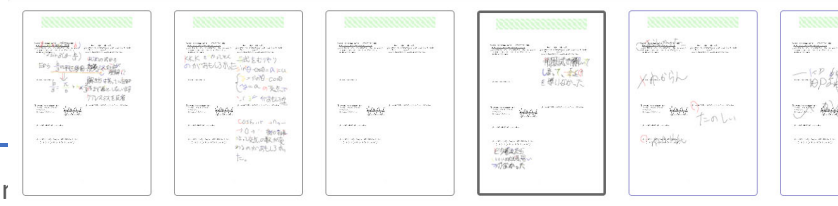
Moodleの教材を利用



教員：学生に
フィードバック

教員：回答プロ
セスを分析

Analysis toolを利用



BookRollを利用

IEC1 休講中課題 vol3

大問1 次の文章の下線部(1)(2)を英訳しなさい。

先日、同窓会に参加した。(1) 10 歳まで暮らした町を、引っ越して以来初めて訪れた。当時特に親しかった数名とはメールでやりとりをしていて、近況も聞いていた。(2) だから、7 年経ってもさほど遠い昔と思ったことはなかった。でも、訪れた町は私がずっと心に描いていたそれとは違っていた。駅前には今や高いビルが並び、私たち家族が日曜の朝ごはんを買っていた小さなパン屋は、こじやれたケーキ屋になっていた。(3) でも初めて CD を買った音楽ショップは全く同じ場所に立っていた。その CD を一緒に聴いてロザンダクラスメイトも、変わらない笑顔で迎えてくれた。

Moodleの課題を利用

日付	大問(1)を英訳しなさい。	大問(2)を英訳しなさい	大問(3)を英訳しなさい
2020年03月18日(水曜日)00:16	I visited this town where I had lived for ten years for the first time I had moved to new house.	that is why though it has been 7 years,I have never felt that it was a old story. But the town which I visited was different from my image.	But the CD shop where I had bought a CD for the first time was built at the exact same place.
2020年03月18日(水曜日)11:48	I visited the town where I had lived by ten years old for the first time since I had moved.	So, I had'nt thought it had been far from present though seven years passed.	However, the music shop that I bought CD first had been same place. The classmate, which I listened to the CD together and sang song readied to welcome me the smile at that time.
2020年03月17日(火曜日)11:19	I returned to my home town after long absence. I moved there when I was ten years old.	So, I did not think that it was distant memory even passed seven years, but the town was different from my image.	However music shop where I had bought CD first time was same place. My classmate who had hummed th CD with me welcomed with a same smile.

Moodleの評定を利用

[illegible]

Moodleを利用

[illegible]

教員：BookRoll
で課題の提示

学生：Moodleで振り返り

学生：Moodleで 文章の提出

英語

教員：Moodleで フィードバック

教員：学習活動 の可視化

Analysis Toolを利用

IEC1 休講中課題 vol3

提出締切 3月18日 12:00

大問1 次の文章の下線部(1)(2)を英訳しなさい。

先日、同窓会に参加した。(1) 10歳まで暮らした町を、引っ越して以来初めて訪れた。当時特に親しかった数名とはメールでやりとりをしていて、近況も聞いていた。(2) だから、7年経っても、その町を懐かしんだことはなかった。でも、訪れた町は私がずっと前に聞いていたそれとは違っていた。駅前には今や高いビルが並び、私たち家族が日曜の朝ごはんを買っていた小さなパン屋は、こじやれたケーキ屋になっていた。(3) でも初めて CD を買った音楽ショップは全く同じ場所に立っていた。その CD を一緒に聴いて口ずさんだクラスメイトも、変わらない笑顔で迎えてくれた。

おわりに

今回は小中学校、高等学校、大学などの教員を対象とします。練習用コースでお試しをして、実際に授業で利用する際に、コースを申請して下さい。学習塾や企業等からの申し込みはご遠慮下さい。

【サポートについて】

今回は、あくまでも、試用ということで、手厚いサポートはできかねますので「練習用コース」の「質疑応答」の掲示板を用いて、お互い助け合って、ご利用頂ければ幸いです。

【BookRollの詳しい説明】

<https://bit.ly/let-bookroll>

【問い合わせ先】

京都大学学術情報メディアセンター
学術データアナリティクス研究分野 事務局

Email: contact@let.media.kyoto-u.ac.jp

LEAFオンライン講習会の実施について

- Zoomを用いて、以下の日程でLEAFのオンライン講習会を実施します。
- 当日は、もう少し詳しくシステムの説明をして、質問を受け付けます。
- 以下から申し込み下さい（各回で500名まで参加可能）

<https://forms.gle/uQYyo6VzYMaEg5N26>

日程：

- 5月14日（木） 17時から18時
- 5月21日（水） 17時から18時

以下は補足スライド

- A. BookRollと音声録音を用いたオンライン授業の方法
- B. 分析ツールの利用法

A. BookRollと音声録音を用いたオンライン授業の方法

①MoodleのコースにBookRollとAnalysis Toolを追加してする

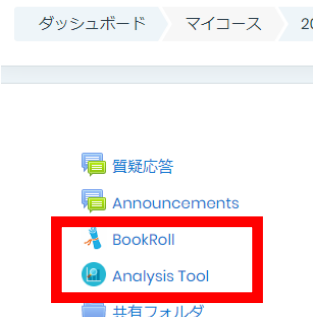
1. Moodleのコースに入って、
[編集モードを開始する]を選び
[活動またはリソースを追加する]を選択
2. [BookRoll]と[Analysis Tool]
を選択して、[追加]を押す
3. 学習画面に[BookRoll]と
[Analysis Tool]が追加される*
4. [BookRoll]と[Analysis Tool]は
リンクを選択して起動します。

Moodleの活動追加画面

活動またはリソースを追加する



練習用コース



学習画面に追加

*教員がBookRollを登録すると学生画面にも自動的に追加されます。

②教材の説明を録音

Windows 10の
ボイスレコーダー

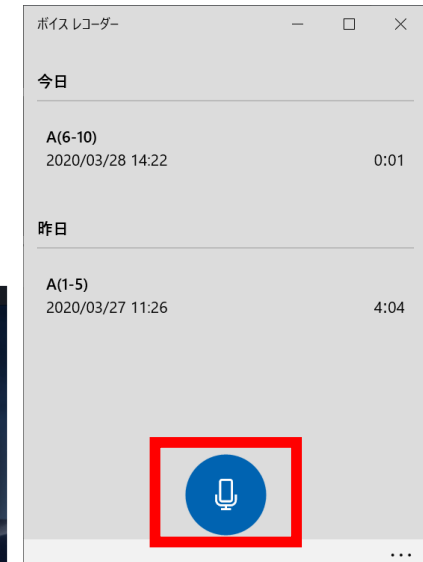
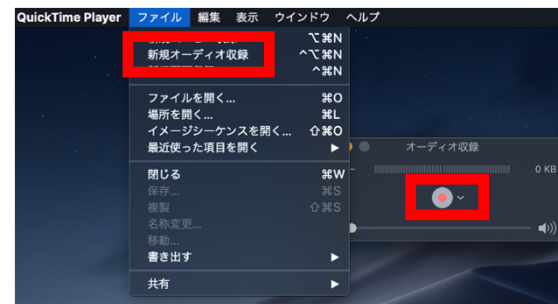


パワーポイントなどで作成した教材Aの説明を
ボイスレコーダー等で録音します

【ツール】

- Windowsの場合：ボイスレコーダー
- Macの場合：QuickTime Player
- スマートフォンの場合：
ボイスメモなど

MacのQuickTime Player



【重要】説明を録音する時は、説明するスライドの番号を言って下さい。

【おススメ】

- 10分～15分毎に説明を分けて音声録音して、時々、演習課題や小テスト等の活動を入れて下さい。
- 音声ファイルは、教材ファイルとスライド番号をつけておくと便利です。
例えば、A(1-5).m4a, A(6-10).m4a
- 録音はヘッドセットや専用マイクを使い静かな場所で行うとクリアです。

③BookRollに教材と音声ファイルをアップロード

1. パワーポイントなどで作成した教材AをPDFに変換して保存
2. Moodleにログインして[BookRoll]を起動
3. [教材追加]を選択して、教材名を記入し、PDFファイルを選択して[アップロード]
4. 音声ファイルを(複数)選択
5. **転送完了**のメッセージが出た後[登録・更新]を選択*
6. 登録後の教材を削除するには[ディレクトリ管理]からファイルを選択して削除

***100MB**までアップロード可能

【おススメ】

BookRollに**小テスト**を作成して、分析ツールで学生の理解度を確認できます。詳しくはマニュアルをご覧ください。

***限定公開**はコースに登録された学生のみ、**学内公開**はコース内外の全ユーザが閲覧できます。

BookRollの教材登録画面



④学生は音声を聞きながら教材を閲覧

1. 学生はMoodleのコースでBookRollを起動
2. BookRollで音声（説明）を再生しながら教材を閲覧
3. マーカーを引いたり、質問をメモすることを学生に推奨

- ①ブックマーク
- ②マーカー
- ③メモ
- ④検索
- ⑤全画面表示
- ⑥クイズ/補足
- ⑦次のページへ移動
- ⑧前のページへ移動
- ⑨ページの移動

【メモ】一旦、再生を止めて
前のページに戻ったりして
その後、元のページに戻って
再度、再生開始



音声の再生

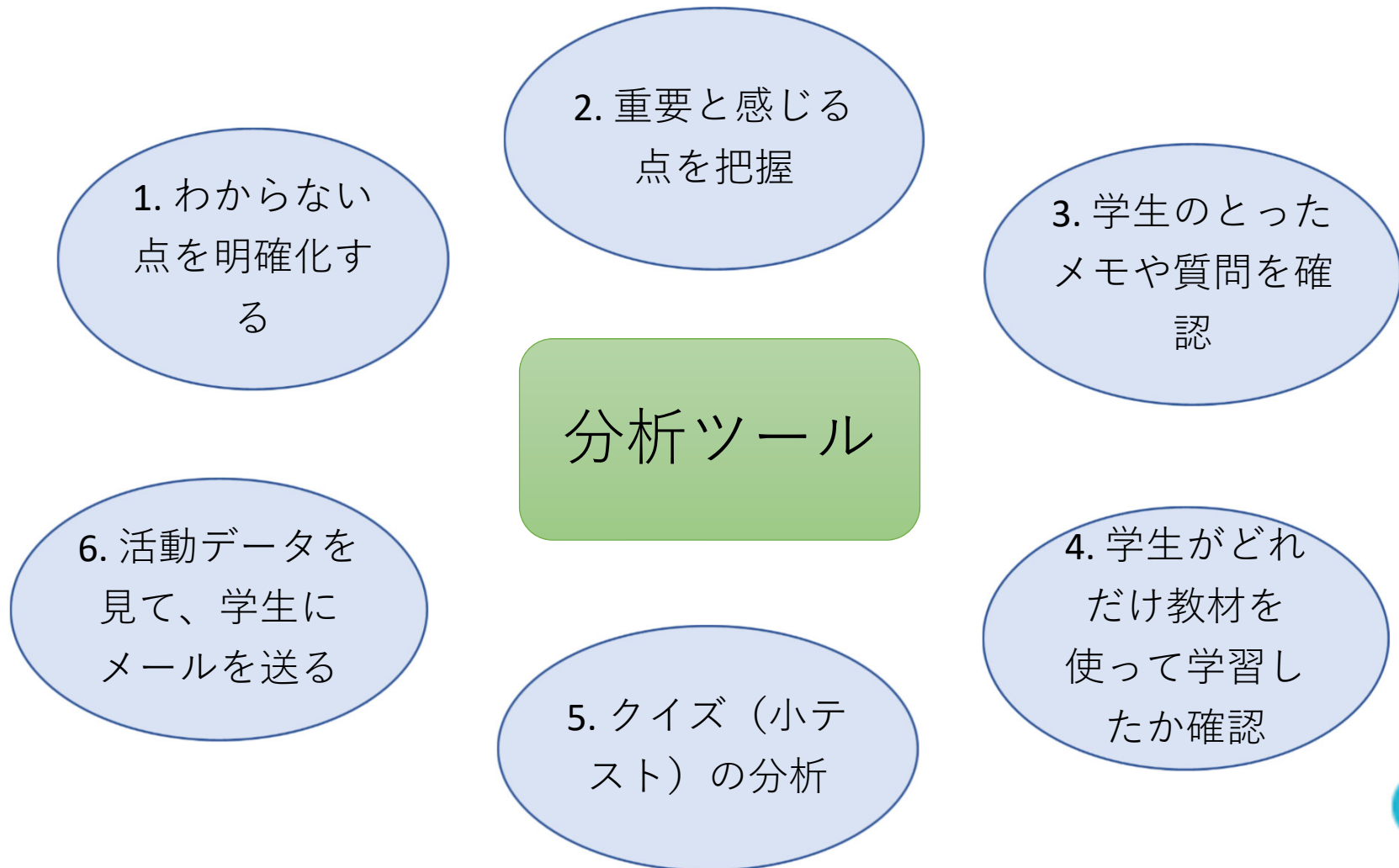
Chapter 4

⑧ Social Interaction

Interaction Design, beyond human-computer interaction
3rd edition, by Y. Rogers, H. Sharp and J. Preece

B. 分析ツールの利用法

分析ツールでできること



ステップ1：分析する対象を選択

分析ツール

ログアナライズ ナレッジアナライズ

表示内容を選ぶ

コースタイトル 教員への研修会

① 教材を選ぶ ごみについて考えよう

ページを選ぶ 1 ~ 1

② 学生を選ぶ 全学生

③ 期間を選ぶ 今日 直近7日間 直近30日間 日付指定

2019 -4 -1 00:00 ~ 2019 -10 -24 11:00

④ 分析を開始

- ①教材
→「**ごみについて考えよう**」
- ②学生
→「**全学生**」
- ③期間 「日付指定」
→例)2020年4月1日00時00分
～現在
- ④「**分析開始**」をクリック



ステップ2：分析結果の説明を表示

グラフなどの表示内容を文章で説明しています。
[説明を閉じる]ボタンを押すことで、分析結果を見ることができます

分析ツール

表示グラフ設定Japaneseログアウト

学習情報

説明

BookRoll上での学習活動が表示されています。学生の活動量、学習履歴、学習成果についての集計が閲覧できます。

学生と教材では、教材を閲覧した学生の数と、教材の合計ページ数が表示されています。授業前に、BookRoll上の教材を閲覧した学生が何人いるのか、確認できます。授業後は、授業時間内での平均活動量と平均時間、平均閲覧達成率を確認することをお勧めします。また、赤色または黄色のマーカー使用率が高い場合、マーカー分析とマーカーリストのグラフから、詳細を確認してください。

「表示内容を選ぶ」の「学生を選ぶ」から、学生1名を選択した場合、その学生の学習情報が上位に表示され、クラス全体の数値は下位に表示されます。それらの情報により、特定の学生の数値とクラス全体の数値を比較することができます。平均活動量や、平均達成率が、クラス平均と比べて著しく低い学生には、その結果を通知することをお勧めします。

	平均時間 (分)	平均閲覧達成率 (%)	メモ (枚)	ブックマーク	閲覧マップ
5	4	57	21	0	
ページ (枚)					

説明を閉じる

教材

説明

教材画面ではそれぞれのページの内容と、学生が引いた黄色と赤色マーカーが表示されています。

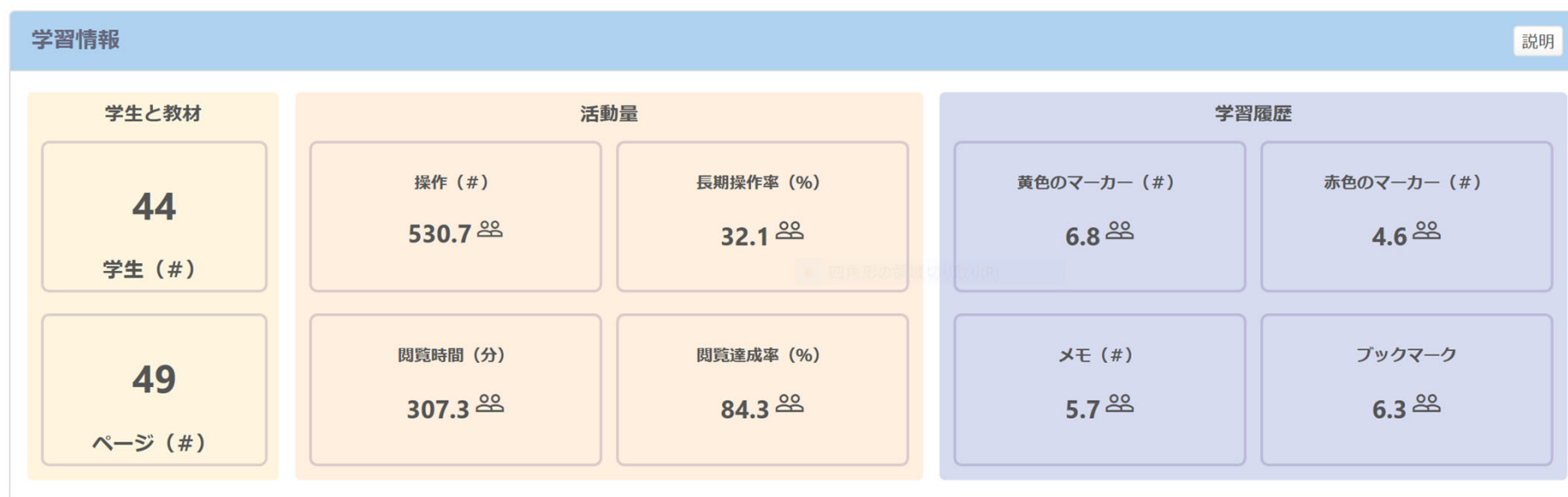
学生1名を選択した場合、その学生が引いたマーカーのみ表示されます。

教材全体を閲覧し、黄色マーカーが多いページを確認できます。授業中にそれらのページについて、十分に説明する、またはわかりやすい内容に編集することをお勧めします。



分析結果を表示 [学習情報]

学習情報では、分析ツール上のグラフの概要データが閲覧できます



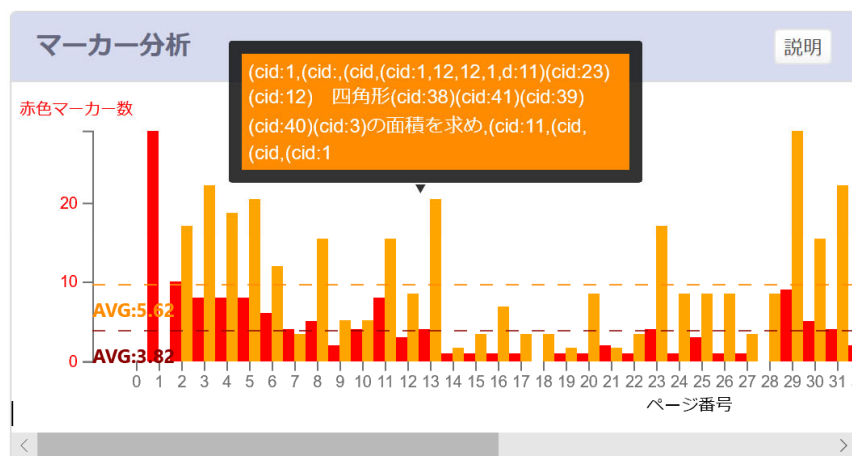
①学生と教材：
教材を閲覧した
学生数と合計
ページ数

②活動量：
BookRollの操作
や閲覧に関する
情報

③学習履歴：
マーカー・メモ・
ブックマーク

分析結果を表示 [マーカー]

マーカー分析



赤と黄色のマーカー
数をページごとに表
示

マーカーリスト

マーカーリスト		データ出力	説明
12	学生名	11次	
13	学生名	(ci	
13	学生名	(cid:11	
13	学生名	cid:	
13	学生名	(cid	
13	学生名	(cid	

マーカーが引かれた
キーワードのリスト
をページごとに表示



分析結果を表示 [メモ]

メモ分析



書き込まれたメモの数をページごとに表示

メモリスト

メモリスト

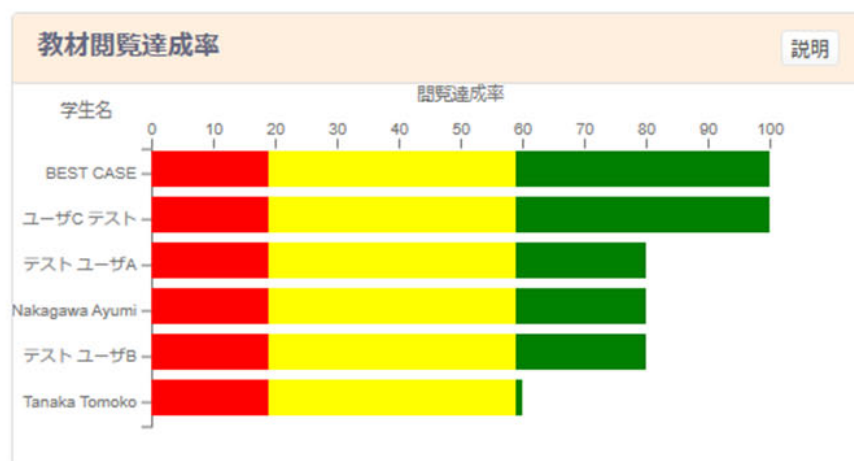
データ出力 説明

1	学生名	がんばる
1	学生名	一日十問頑張る
1	学生名	先生, 元気ですか?
1	学生名	27日→26日
1	学生名	3C 夏休み課題, 3周はやる!!

書き込まれたメモのリストをページごとに表示

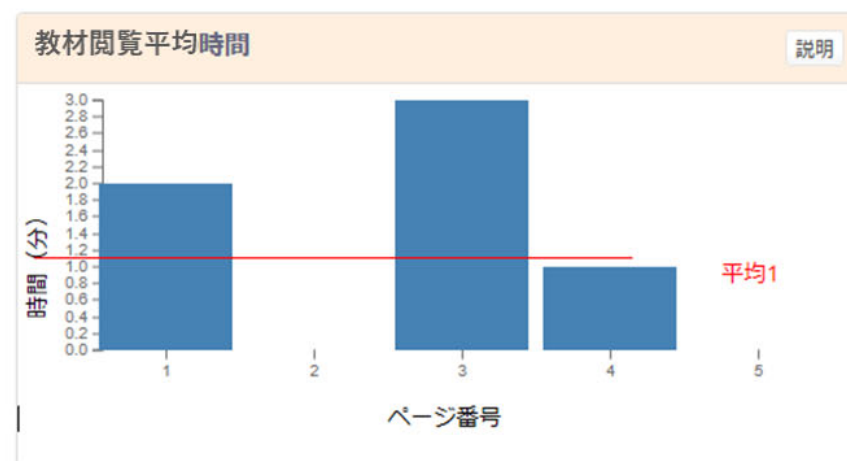
分析結果を表示 [教材閲覧]

教材閲覧達成率



教材を閲覧した割合を
学生ごとに表示

教材閲覧平均時間



教材を閲覧した平均時間
をページごとに表示



ステップ3: 学生にフィードバック

Reading Analysis									
<div> Show 10 entries Deselect All Send Mail info </div>									
Student Name	Time	Event	Day	Completion	Long E	Red M	Yellow M	Memo	BM
Tanaka Tomoko	205.0	299	5	113	140	4	13	6	7
Takai Yuka	40.0	93	4	113	46	0	5	2	
テスト ユーザB	11.0	37	2	63	20	3	5	3	
テスト ユーザE	10.0	66	2	63	21	4	6	4	
テスト ユーザA	6.0	40	2	63	20	4	7	3	
テスト ユーザG	4.0	27	2	63					
テスト ユーザC	3.0	33	2	63					
テスト ユーザF	3.0	31	2	63					
テスト ユーザD	2.0	25							
Majumdar Rwitajit	0	0	0	0					

学生にメールを送信

生徒はちゃんと読んで
いるか？

New Message

Select Message Type

Reading Completion
Reading Time
Attendance
Reading Reminders

Title

Message

Dear student
The course has picked up pace and covered 'x' weeks of content 'y'
But I can see you are still lagging behind and you have not finished reading the content until the end.
Read the content before the next class such that it helps you to follow the class better. Please access BookRoll and read through all pages of the content. You can use the yellow and red markers, memo, and bookmark features.

Wish you all the best
○○ Sensei

Signature

Close

Send Message